

月	学習内容	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項等）	考查範	a	b	c	d	関心・意欲・態度 a	思考・判断・表現 b	技能 c	知識・理解 d
7	5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	○食生活の自立に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作れるようになる。 ○日本や地域の食文化を見直し、食文化を継承について考える。 ○食料生産や食料問題、食の安全性など課題について考える。 ○生涯を通じて健康で安全な食生活を営む力を身につける。	・実習の計画性・安全性に十分配慮する。	1学期期末考查	○		○		・調理実習や実験などに、科学的な視点から、積極的に取り組もうとしている。 ・食品表示に関心を持ち、食生活の安全と環境について考えようとしている。	・食品をめぐる近年の事例から、食生活の安全性や環境について思考を深めている。 ・食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活について考え、工夫している。	・栄養、食品、調理に関する基礎的な知識を生かして、ライフステージの異なる家族に合わせて、適切な献立作成ができる。 ・食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	・地域の食文化から、風土と食物の関係を理解している。 ・現代の食生活の課題、食文化、食品の安全性と環境についての課題を認識し、その知識を身につけている。
[第1学期の評価方法] 定期考查、課題・提出物、授業態度												
月	学習内容	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項等）	考查範	評価の観点のポイント							
					a	b	c	d	関心・意欲・態度 a	思考・判断・表現 b	技能 c	知識・理解 d
8	ホームプロジェクトの発表	○ホームプロジェクトの発表を通して、生活課題を発見する視点やその課題を解決するための手立てについて理解を深める。	・発表形式や時期を工夫する。						・ホームプロジェクトに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	・生活上の課題を見出し、その解決を目指して科学的に探求し、成果と課題をまとめて発表し、活動全体を振り返っている。	・生活課題を発見する視点やその課題を解決する手立てを検討する技術を身につけている。	・ホームプロジェクトの実践や振り返りに必要な知識を身につけている。
9	第1章 自分らしい人生をつくる 1 生涯発達の視点 2 青年期の課題 3 目標を持って生きる	○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解する。 ○男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解し、家庭生活の在り方について考える。	・今までの自分を客観的に振り返らせる。 ・「倫理」や「総合的な学習」と関連させる。 ・キャリア教育と関連させる。		○		○		・生涯発達の考え方に立ち、各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、青年期の課題について具体的に考えようとしている。	・自分を見つめ、肯定的な自己概念を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、具体的にまとめている。 ・家庭生活を支える法律や社会制度、ボランティアの在り方について考え、まとめたり発表したりしている。	・家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。	・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 ・青年期の課題や現代家族の特徴、家庭生活と社会との関わりについて理解している。

月	学習内容	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項等）	考 査 範 疇	評価の観点のポイント				関心・意欲・態度 a	思考・判断・表現 b	技能 c	知識・理解 d
					a	b	c	d				
10	4 人生をつくる 5 家族・家庭を見つめる 6 これからの家庭生活と社会	○家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握する。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。	・第5・9章と関連させる。 ・ライフコースの参考になる各種例や資料を示し、集めさせる。		○	○	○	○	・固定的な性別役割分業意識を見直し、多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会との関わりを考えようとしている。	・男女共同参画の面から、各自が担う家庭での役割と自立について考え、まとめたり、発表したりしている。		・自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解している。
11 1 1 1 2	第2章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 親として共に育つ 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わり的重要性を理解する。 ○遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について知る。 ○子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の在り方について考える。	・視聴覚教材の活用 ・子どもに関する情報を調べさせる。 ・幼稚園、保育園等と連携する、学校家庭クラブ活動と関連させる。 ・第4章と関連させる。 ・「保健」と関連させる。	2 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	・母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもとの触れ合いを通して、発達や生活に関心を持ち、保育の重要性や社会の果たす役割を考えようとしている。 ・子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、課題解決に向けて考えようとしている。	・児童虐待や育児不安の事例研究を通して、原因および解決について考えを深めようとしている。 ・子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生き育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめたり、発表したりしている。 ・子どもと触れ合う学習活動について、学習目標、実習中の判断、学習後の振り返りなど、成果をレポートにまとめたり、発表したりしている。	・幼稚園や保育所等の実習で、子どもと適切に関わったり、子どもの発達の実際や生活の様子について観察したりすることができる。 ・子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり、調査することができる。	・生命の尊さ、子育ての意義の重要性について理解している。 ・妊娠や出産に関わる知識を身につけている。 ・子どもの心身の発達や生活と環境との関わりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 ・社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項，他教科との関連等）	考查範囲	評価の観点のポイント								
						a	b	c	d	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
3 学期	1	第3章 高齢社会を生きる	○高齢社会の現状と課題を理解する。	・身近な高齢者と接触する機会をもつ。	3 学期 期末 考查	○	○		○	・高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち，高齢者を肯定的にとらえ，高齢期の生活について考えようとしている。	・高齢者や高齢者を取り巻く社会について，具体的に課題を見出し，その解決を目指して思考を深め，まとめたり，発表したりしている。	・体験的実習を通して，高齢者と適切に関わることができる。 ・高齢者の日常生活に必要な基礎的介助ができる。 ・地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり，調査したりすることができる。	・高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活について理解している。 ・体験的実習を通してコミュニケーションを図り，高齢者の意思を尊重し，思いやりをもって接することの大切さを理解している。 ・高齢者の尊厳を保ち，残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。	
	2	1 高齢期を理解する	○高齢期の心身の変化や特徴と，個人差が大きいことを理解する。	・高齢者に関する情報を調べさせる。		○	○	○	○					
	3	2 高齢者の心身の特徴 3 高齢者を支える 4 これからの高齢社会	○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○高齢者に関する福祉について学び，高齢者を支える制度と課題を考える。	・高齢者施設や学校家庭クラブ活動と連携させる。 ・第4章と関連させる。 ・「現代社会」「政治経済」と関連させる。		○	○	○	○					
[課題・提出物等] レポート，ワークシート，学習ノート，実験・実習レポートなど						[第3学期の評価方法] 第1学期に準ずる。								